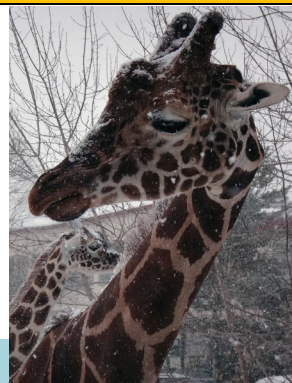


## 国際社会学部

# 人と動物の関係史

History of human-animal relationships



### 動物愛護の先進国イギリス？

イギリスには動物愛護の先進国というイメージがあるかもしれませんが。ヨーロッパでいち早く動物虐待防止法を制定した国であり、19世紀半ばには、動物虐待防止協会(現在の RSPCA)が、発足し、世紀後半には動物実験を規制する法律が制定されました。一方、この時期のイギリスは「大英帝国」として、植民地の人々や自然から収奪することで、繁栄を謳歌したというイメージもあります。このふたつのイメージは、イギリスの歴史の異なる側面を映し出しているように見えますが、実は根っこではつながっているのです（『ヒトと動物の関係学会誌』63号「巻頭言」より。一部表現を改めました）。

### 外大の歴史学

今日の動物福祉に繋がる法律や制度は、イギリスですでに19世紀頃から見られますが、どれも一面的には論じることができない複雑な要素をもっています。理念と実態とが乖離していたり、ある局面での動物福祉の前進と、別の局面での動物福祉の後退とが連動していたりするからです。また、植民地などから大量の動物や動物由来の原料が輸入されていた事実を看過して、イギリス国内の状況だけを切り離して論じることができません。ただし、ひとつ言えることは、この時代のイギリスでは、動物の処遇や動物観の変化が、日常生活の様々な場面で体感されるようになり、あるべき動物と人との関係が、公共の場で議論されるようになったことです。そのことが動物福祉に関する新しい問題の発見や、それを克服するための理念や規範の構築を促したと言えます。それを踏まえて、できるだけ総体的に両者の関係史を描いていくことが、この分野に携わる歴史家の仕事です（『ヒトと動物の関係学会誌』63号「巻頭言」より。一部表現を改めました）。

関連する授業一覧（2023年度）

#### 伊東剛史

- 「歴史社会研究概論Ⅰ：周縁からみるグローバル・ヒストリー」

### ゼミ

- 伊東剛史（北西ヨーロッパ）

### 関連する学問分野

- 文化人類学

### おススメの本

- 『アニマル・スタディーズ』（ローリー・グルーエン他）

